岩手中・高等学校吹奏楽部
第30回定期演奏会

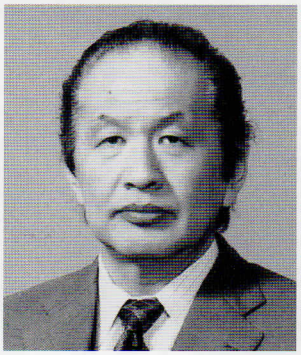
SONIC CRISIS FESTA 2011

30

2011.10.16.SUN
OPEN 17:30 START 18:00
盛岡市民文化ホール
（マリオス）大ホール

ご あ い さ つ

岩手中・高等学校長　村 井 伸 吾



本日は岩手中・高等学校吹奏楽部第30回定期演奏会にご来場くださいまして誠にありがとうございます。

楽器を使って個々の自己表現力を高め、演奏を通してみんなが一つの音楽を創ることのできる部員は、本校でもひときわ輝いて見えます。

部員たちが、今まで積み上げてきた練習の成果を思う存分発揮して奏でる音楽は、ご来場の皆様にとっても、楽しく心に残るものとなるでしょう。

今宵は、彼らの心のこもった感性豊かな演奏、パフォーマンスをお楽しみいただくとともに、今後とも温かいご支援、ご指導をお願い申し上げましてごあいさつといたします。

吹奏楽部顧問　永 田　亮・八重樫 律 幸

本日はお忙しい中、本校吹奏楽部定期演奏会にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。

今年のメンバーは「楽しくお客様方に喜んでいただける演奏会にしよう」と準備を進めてまいりました。たった10名の小さな部ですが大きな音楽を目指して、日々練習しています。まだまだ未熟な演奏・演技ではございますが、どうぞ最後までお聴き下さい。

吹奏楽部長　岩 佐 章 弘

本日は、岩手中・高等学校吹奏楽部第30回定期演奏会にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。皆様の暖かい御声援により、今年も例年通りに演奏会を開催することができました。この場をお借りしまして、部員一同心より感謝申し上げます。

我々は４月に新入部員２名が加わり、中学生・高校生合わせて10名で吹奏楽コンクール・マーチングフェスティバルのみならず、各訪問演奏などに向けて日々練習に励んでおります。

今年は、吹奏楽コンクールで６年ぶりの東北大会出場や、マーチングフェスティバル、ソロコンテスト等でも東北大会出場が決定し、練習の成果を発揮することができました。

また今年は、定期演奏会が第30回という節目の年にあたるという事で、卒業生の皆さんとの合同演奏を企画し、部員一同やる気に満ちあふれております。まだまだ未熟な点も多々ございますが、精一杯演奏いたしますので、暖かい御声援よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、この定期演奏会を開催するにあたり、ご支援・ご協力をいただきました関係諸団体の皆様に厚く御礼申し上げます。

Introduce Conductor & Adviser

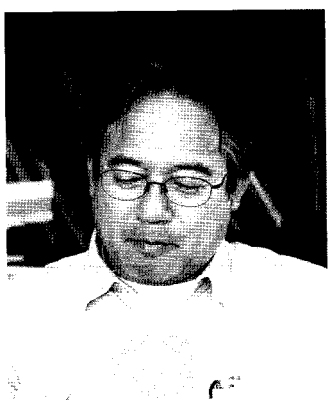
永田　亮 *Tohru Nagata　Euphonium／Conductor*

平成10年に本校に着任。吹奏楽部を指導して14年目になる。

小学校４年生の時、同じ小学校内のマーチングバンドのトランペットの女の子に憧れ入部するが、最初に受け持った楽器はシンバル。５年生で念願のトランペットを手にする。その流れで中学校でも吹奏楽部に入部したが「すぐにレギュラーになれるよ」という先輩の一言であっさりテューバに転向。そして引退を迎えた時、顧問の先生に「お前は音楽で食ってけ。」と言われ音楽の道を志す。さらに高校ではユーフォニアムに転向。

高校卒業後、昭和音楽大学器楽科に入学。ユーフォニアムを大沢和幸、大房美穂、八尾健介、指揮法を田中一嘉、吹奏楽指導法を大沢健一の各氏に師事。現在に至る。

高校の担任であり、愛妻家であり、愛娘を超溺愛するパパでもある。



八重樫 律幸 *Noriyuki Yaegashi／Adviser*

今年で副顧問６年目となる八重樫先生。

担当教科は美術で部の金庫番や身の回りの世話をしています。時々得意なマジックも見せてくれます。また、音楽室に来ては永田先生の指揮棒を持ち、構えたりもします。たぶん指揮をしてみたいんでしょう。そんないつも、部の雰囲気を和ませる面白い先生です。ちなみに我が部のアイテムの中には八重樫先生手作りのものも多数。今回も手作り楽器が炸裂！

曲目紹介

第1部

1. マーチメドレー
2. プレリュードⅡ　G. ガーシュウィン作曲／山本教生 編曲
3. ～現役生＆OB合同演奏～
4. 吹奏楽のための木挽き歌　小山清茂 作曲

第2部

1. ～2011 岩校 秋の歌謡祭!!～
2. ステージ・ショウ
3. 3年生ステージ
4. ～マーチングステージ～
   "It's a show Time."

曲目解説

G．ガーシュウィン作曲　　山本教生 編曲

プレリュードII

ジョージ・ガーシュウィン（George Gershwin、1898年９月26日 - 1937年７月11日）は、アメリカの作曲家。ポピュラー音楽・クラシック音楽の両面で活躍し、「アメリカ音楽」を作り上げた作曲家として知られています。『ラプソディ・イン・ブルー』はオーケストレーションにファーディ・グローフェの協力を得て、ジャズとクラシックを融合させた「シンフォニック・ジャズ」の代表的な成功例として世界的に評価されました。

プレリュードIIはガーシュウィンのピアノ曲で、ガーシュウィンの前奏曲集の中からMelody No.17(メロディ第17番）を１曲目として、Rubato（ルバート）を２曲目、Novelette in Fourths（４度のノヴェレット）を３曲目として編曲された作品です。

小山清茂 作曲

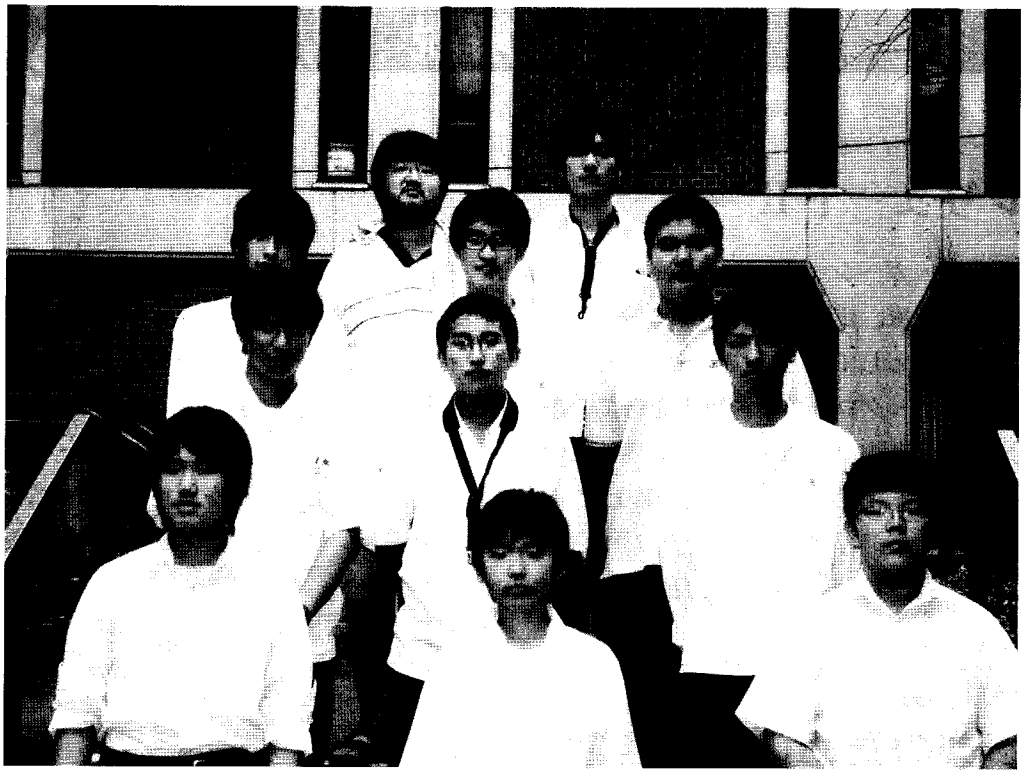
吹奏楽のための木挽き歌

『管弦楽のための木挽歌』（かんげんがくのためのこびきうた）として、日本の作曲家小山清茂によって1957年に作曲され、1970年に作曲者自身の手により、吹奏楽編曲版『吹奏楽のための木挽歌』が作られました。

九州宮崎県に伝わる「木挽き歌」を題材に主題と3つの変奏の計４つの部分から構成される一種の変奏曲の形をとりながら、１つの民謡が少しずつ変化しながら生まれ育っていく様子が描かれています。

作曲者の小山 清茂（こやま きよしげ、1914年１月15日－2009年６月６日）は、長野県出身で神楽や祭囃子をモチーフに日本情緒に満ちた温和な作風が特徴的です。生家は山深い里の農家で幼少期には西洋音楽に触れることがく、その代わりに彼の周りには、村の祭礼音楽やさまざまな童歌、村人達がうたう即興の唄や民謡があふれていたそうです。1933年長野師範学校卒業後、長野県内で教諭を務めながら独学で作曲の勉強を行い、数々の名曲を残しました。

部員紹介



フルートパート高校３年の奏ちゃんこと **川崎　奏**君 を紹介します。

彼は３年生といっても、高１の12月頃に入部し、約２年間でフルート、ピッコロ、サックス、クラリネットとたくさんの楽器を経験したオールラウンダーです。副部長としてしっかりと部をまとめ上げる力も持っています。　（紹介者：文太）

次はクラリネットパート、中２の **井上　聖真**君 の紹介です。岩校吹奏楽部で数少ない経験者として入部してきた聖真も今年で２年目。ソロを任せられるなど日々成長しています（体の方も進化中！）今日は聖真の演奏やマーチングの動きに注目です。　（紹介者：奏）

同じくクラリネット担当、高３の **川村　文太**さん を紹介します。文さんはクラリネットが上手くて、時々アドバイスもしてくれる信頼できる先輩です。GARNET CROWが大好きな文さんはいつもWALK MANで曲を聴いています。今までお疲れ様でした。２年間、本当にありがとうございました。　（紹介者：聖真）

主にB.Saxを担当する１年生、**多田　達芳**君を紹介します。

彼は、いつも鼻歌を歌っています。また、バイオハザードをこよなく愛しており、１日中話す事ができます。そんな彼は今、アルトにも挑戦して毎日練習頑張っています!!　今日は、そんな彼の演奏をどうぞお楽しみに。　（紹介者：岩佐）

部員紹介

SAXがとても上手な **岩佐　章弘**さん（高３）を紹介します。とても練習熱心で、気がつけばいつも１人どこかでじっくり練習しています。音楽の知識も豊富で頼れる存在！　ちなみに最近前髪をよく気にしており、身の回りのガラスや鏡を前に、前髪をいじっています。そんな岩佐さんですが今年でもう高校３年生。そこで今回は高校生活最後のステージで最後の演奏を繰り広げます!!そんな岩佐さんの演奏を皆さん、暖かく見守ってあげて下さい。

（紹介者：達芳）

トランペットを担当している高２の**熊谷　凌太**さん はとても面白いキャラで、一緒にいるだけで思わず笑顔になってしまう人です。いろいろなゲームを真夜中にやっていて寝不足になってしまうこともしばしば･･･。吹奏楽もゲームと同じ位一生懸命頑張っています!!

（紹介者：康平）

トロンボーン、高校１年 **谷藤　康平**君 を紹介します。
いつも本を読んでおり、特に「伊坂　幸太郎」さんの作品が好きらしい。人のまねをしょっちゅうする。結構マイペースで、人の心配をすることはあまり無い。でも優しく真面目。練習をしっかりとやっているので応援してあげて下さい!!　（紹介者：晶）

チューバ担当、高校２年の **及川　晶**君 です。部内で一番身長が高く、体もでかい！（楽器が小さく見える!?）この部活で今は伝説となったあるOBの方の弟でもあります。しかし、兄と弟ではやっている楽器も正反対で見た目も似ていないですが、性格はどことなく似ている気がする･･･。　（紹介者：凌太）

パーカッション担当、中２の **藤原　晃啓**さん を紹介します。晃啓さんはドラムやパーカッションと同じ位テトリスも上手です。一生懸命パーカッションを練習するのと同じ位テトリスをやっています。（県大会の夜にテトリスを・・・）　（紹介者：尚哉）

今年入部した中１のすぎかわこと **杉川　尚哉**君。小４の時から吹奏楽をやっているというだけあって、コンクールではクラリネットも吹いていた。そんな彼の特徴は・・・
①声がでかくて高くてうるさい。
②ちょこちょこ走り回る。
③いつもテンションが高い。　　そんな彼に日々悩まされる先輩たちでした･･･

（紹介者：晃啓）

３年生紹介

岩手中・高等学校吹奏楽部の３人の３年生を紹介します。

フルート担当：川崎　奏

奏さんは１年生の冬から吹奏楽をはじめ、日々練習を頑張ってきたとても努力家です。その頑張りにご期待下さい。

クラリネット担当：川村　文太

文太さんは主にクラリネットの後輩に振り回されながら、練習を頑張っています。３年間頑張ってきましたので応援よろしくお願いします。

サックス担当：岩佐　章弘さん

岩佐さんは小学校の頃からサックスを吹いていて、部活の他にもピアノや楽典なども勉強しています。小学校から積み上げてきた実力をご期待下さい。

次回

岩手中・高等学校吹奏楽部第31回定期演奏会
～Sonic Crisis Festa '12～

2012年10月

本日は、ご来場くださいまして誠にありがとうございました。

最後になりましたが、演奏会ならびにパンフレット製作にあたり広告その他ご協力頂きました皆様に厚くお礼申し上げます。

また皆様とお会いできることを楽しみにしております。

★こちらもどうぞ★

■岩手中・高等学校ホームページ "Sonic Crisis"

http://www.iwate-jh.ed.jp

主催：岩手中・高等学校吹奏楽部

後援：岩手県マーチングバンド・バトントワーリング協会

協力：岩手中・高等学校、盛岡市民文化ホールスタッフ

印刷：㈱興版社